

今号の作業

マフラーを組み立てる①



今号では、マフラーを組み立てるための準備作業を行う。最初に着手するのは「2番マフラー」で、CB750FOURの左側面下側に配置されるマフラーだ。メッキパーツの表面に傷が付かないよう、取り扱いに注意しながら作業を進めよう。

今号のパーツ



- ①エキゾーストマフラー2番・内側×1
- ②エキゾーストマフラー2番・外側×1
- ③コネクティングチューブA×2
- ④ビス(Pタイプ・2.3×5mm)×5(※1本は予備)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・マスキングテープ(セロハンテープでも代用可)

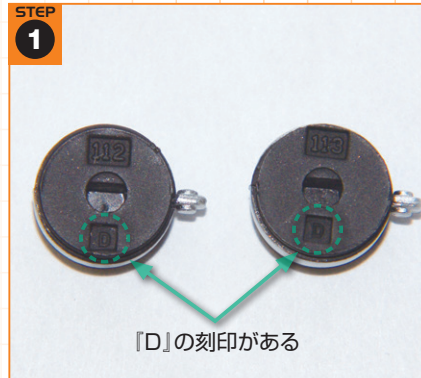
あると便利な道具

- ・2.3mm中タップ&タップホルダー

用意するもの

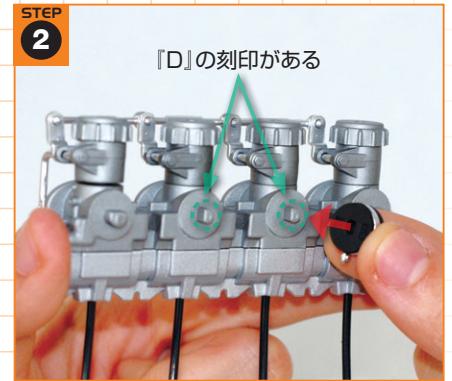
- ・キャブレター(13号で組み立てたもの)

STEP
1



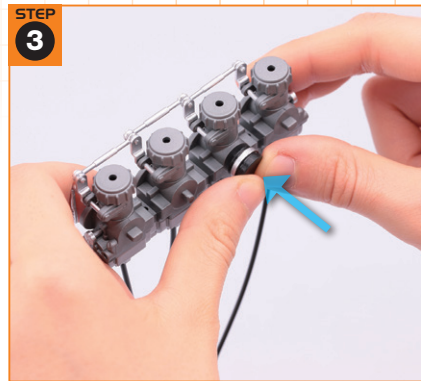
まず、③コネクティングチューブAを確認しよう。片面には「D」字型の穴が設けられ、その下には「D」の刻印があるはずだ。なお、「112」「113」という数字の刻印はパーツ製造上の管理番号で、組み立てには関係ない。

STEP
2



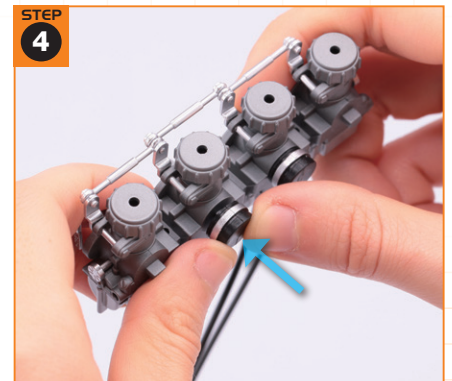
コネクティングチューブAを、キャブレター背面に並んだ4本のピンのうち、「D」の刻印があるピン(中央の2本)のどちらかにセットする。穴とピンの形状をしっかりと合わせよう。

STEP
3



コネクティングチューブAをピンに差し込んだら、しっかりと奥まで押し込む。

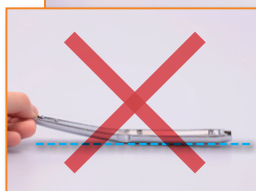
STEP
4



続いて、もう1個のコネクティングチューブAをピンに差し込み、しっかりと押し込んで固定する。



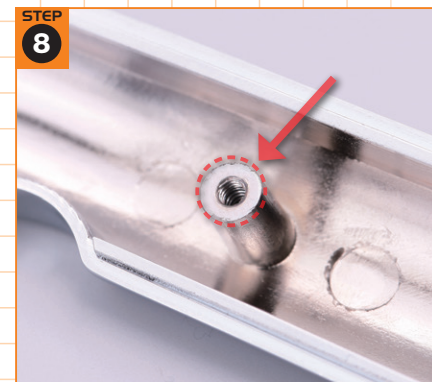
次に①エキゾーストマフラー2番・内側と②エキゾーストマフラー2番・外側の「パーツ裏面」を確認してほしい。数字の刻印のほかに「アルファベットの刻印」がある。4本のマフラー用パーツは、それぞれA～Dの刻印でパーツを識別できるようになっている。今号と次号では「D」の刻印があるパーツを組み立てる。



②エキゾーストマフラー2番・外側の形状を確認。パーツの内側に4本の突起(「ポスト」と呼ぶ)があり、それらは少し傾いた状態になっているので、作業時にはポストが垂直になるよう注意する必要がある。



④ビス(Pタイプ・2.3×5mm)と1番の+(プラス)ドライバーを使い、各ポストのビス穴にタップを立てる(4号参照)。深さはビスの半分程度で十分だ。なお、2.3mm中タップ&タップホルダーを使えば、簡単にタップを立てられる。



ポストのビス穴にタップを立てた状態。ビス穴の中に「切粉(「きりこ」=切削によって生じた金属くず)」が詰まらないよう、パーツを裏返して軽くたたいておく。



①エキゾーストマフラー2番・内側を用意し、ビス穴の処理を終えた②エキゾーストマフラー2番・外側と重ね合わせる。



内側の突起が互いにはまるようになっているので、ピッタリと位置を確かめながらはめ込む。



パーツが離れないよう押さえたまま、中央部分にマスキングテープを巻いて「仮組み」する。



これで今回の作業は完了だ。メッキ処理を施されたマフラーと、金属の地肌を再現したキャブレターの質感が見事なコントラストを放っている。組み立てたパーツは破損しないよう、大切に保管しておこう。